

2017年 国際スナイプ級 関西選手権大会  
2017年 セーリングスピリッツ級 関西選手権大会  
2017年 兵庫県セーリング連盟 第3回ポイントレース

## 帆走指示書

場 所 兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー  
期 日 2017年 8月 19日(土) ~ 20日(日)  
共同主催 関西スナイプ協会、セーリングスピリッツ協会関西支部、  
兵庫県セーリング連盟  
後 援 関西学生ヨット連盟、B&G 兵庫県ジュニア海洋クラブ  
協 力 新西宮ヨットハーバー 株式会社

帆走指示書(SI)の規則での[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができることを意味する。

### 1. 適用規則

本大会は「セーリング競技規則」に定義された「規則」を適用される。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示される。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の60分前までに掲示される。

ただし、レース日程の変更は、発効する前日の20:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。

4.2 [DP]音響1声とともに掲揚される「D旗」は、「予告信号はD旗掲揚後50分以降に発する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない」ことを意味する。

4.3 予告信号予定時刻の50分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている。

### 5. レースの日程

#### 5.1 レース日程とレース回数

日 程	セーリングスピリッツ級	国際470級	国際スナイプ級
8月19日(土)	4レース	4レース	4レース
8月20日(日)	4レース	4レース	4レース
合 計	8レース	8レース	8レース

5.2 8月19日(土)には、追加の1レースを行うことがある。

#### 5.3 最初のスタートの予告信号の予定時刻

8月19日(土) 10:25 最初の予告信号の予定時刻

8月20日(日) 9:55 最初の予告信号の予定時刻

スタートは、①セーリングスピリッツ級、②国際470級、③国際スナイプ級の順にスタートすることとし、それぞれのスタート時刻は、前のクラスのスタート後、実施可能となれば直ぐ行う。

但し、風速及びフリートの状況により順番を変更することもある。

5.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともに、オレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

5.5 8月20日(日)は、14:30より後には予告信号を発しない。

5.6 ブリーフィング

8月19日(土)は9:00より、8月20日(日)は8:30より大会本部前にてブリーフィングを行う。

## 6. クラス旗

クラス旗は、下記を用いる。

クラス	旗
セーリングスピリッツ級	セーリングスピリッツ 旗
国際 470 級	470 旗
国際 スナイプ 級	スナイプ 旗

## 7. レースエリア

『添付図A』にレースエリアの位置を示す。

## 8. コース

8.1 『添付図B』の見取り図はレグ間のおおよその角度、通過すべきマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側にみて通過するかを含むコースを示す。

8.2 予告信号以前に、レース委員会信号船に「艇の帆走すべきコース」および「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

## 9. マーク

9.1 M1、M2、M3、3S/3P、4Sおよび4Pはオレンジの三角錐のブイである。

ただし、マークの数字は無視するものとする。

9.2 風上・風下コースのオフセットマークはオレンジ色の円筒形ブイである。

9.3 S I 11に規定する新しいマークは黄色の円筒形のブイである。

ただし、マークの数字は無視するものとする。

9.4 スタート・マークは、スタート・ラインのスターボードの端となるレース委員会信号船とポートの端にあるレース委員会船とする。

9.5 フィニッシュ・マークは、レース委員会船とオレンジの三角錐のブイまたはピンク色の円球形ブイとする。

## 10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールの間とする。

10.2 [DP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。

10.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRS A4とA5を変更している。

10.4 国際スナイプ級においては RRS 30.4は適用しない。

10.5 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示されるRRS30.4に規定されたレース委員会の掲示は、レース委員会信号船のスターン掲示板に掲示される。

10.6 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるためレース委員会信号船 以外のレース委員会船にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会信号船以外の当該レース委員会船が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また、音響の有無も無視されるものとする。

これは規則レース信号およびRRS 29.2を変更している。

## 11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)実行できれば、直ぐに元のマークを除去する。

その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 13. コースの短縮又は中止

13.1 レース委員会はRRS 32.1以外に、レースの公正性に影響を及ぼすと考えられる大きな風向の変化・風速低下が発生した場合、コース短縮または中止することができる。

この項に基づきレース委員会がレースを継続又は中止したことについて、艇による抗議又は救済の要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

## 14. タイム・リミットと目標時間

14.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンド及びターゲット・タイムは、次のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンド	ターゲット・タイム
セーリングスピリッツ級	70分	20分	15分	45分
国際 470級	70分	20分	15分	45分
国際 スナイプ級	70分	20分	15分	50分

14.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。

14.3 RRS 30.3 および RRS 30.4 に違反しないでスタートした先頭艇が、コースを帆走してフィニッシュから起算されるフィニッシュ・ウィンド内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、RRS 35、A4 および A5 を変更している。

14.4 各クラスのターゲット・タイムどおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 62.1(a)を変更している。

## 15. ペナルティー方式

15.1 RRS 42の違反に対して付則Pを適用する。

ただし、国際スナイプ級においては規則P1 文中の『セール番号』は『エントリー番号』に置き換える。これは規則 P1 を変更している。

15.2 SI 18.1 に違反した艇には、審問なしに、『PTP』と記載し、フィニッシュ順位+3点のペナルティーを違反が行われた直近のレースに課す。ただし、失格とされた艇より悪い得点が与えられることはない。

このペナルティーが課されるべきレースが成立せず帰着した場合は、ペナルティーは課されない。これはRRS 63.1、RRS A4およびA5を変更している。

## 16. 抗議と救済要求

16.1 抗議書はレース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問の再開要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出しなければならない。

16.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分以内とする。

16.3 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるため掲示する。

- 16.4 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるために、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を掲示する。
- 16.5 SI 15.1 に基づき RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 16.6 SI 10.2、18、19、20、21、22、25 及び RRS77、付則 G、レース公示の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、RRS 60.1(a)を変更している。
- 16.7 審問の再開の要求は、判決の通告を受けてから 20 分以内とする。この項は、RRS 66 を変更している。

## 17. 得点

- 17.1 大会が成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 17.2 艇の得点は、5 レース未満しか完了しなかった場合、レース得点の合計とする。  
なお、5 レース以上成立した場合、艇の得点は最も悪い得点を除外したレースの得点とする。  
これは RRS A 2 を変更している。
- 17.3 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に間違いがあるとして訂正を要請する場合は、艇はレース委員会事務局に用意されている「得点照会要請書」に必要事項を記入して訂正を要請しなければならない。

## 18. 安全規定 [DP]

### 18.1 チェックインとチェックアウト

- (1) 当日のレースに出走しようとする艇は、最初のレースのスタート予告信号の60分前までに大会本部に用意した書式にヘルムスマン自らがサインした後 出艇しなければならない。
- (2) 帰着した艇は、その日の抗議締切時間内に大会本部に用意した書式にサインをしなければならない。  
レース委員会は、正当な理由がある場合には、その時間を延長しなければならない。
- (3) リタイアした艇はできるだけ早くレース委員会船(レース・コミッティー・ボート)またはプロテスト委員会船に伝えなければならない。
- (4) 新西宮ヨットハーバー以外から出艇する艇は、SI 18.1 (1)、(2) に関わらず、ヘルムスマンの代理人がサインすることにより出艇申告、帰着申告の手続きが完了したものとする。

- 18.2 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。この項は、艇による救済要求の根拠にはならない。  
この項は、RRS 62.1(a)を変更している。

## 19. 乗員の交代と装備の交換 [DP]

### 19.1 乗員の交代は、許可されない。

ただし、国際 470 級においては競技者の交代は、レース委員会の承認なしでは許可されない。  
交代の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

- 19.2 損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

## 20. 装備と計測のチェック [DP]

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上では、艇はレース委員会のメンバーにより検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

## 21. 支援艇【DP】

- 21.1 支援艇を認める。但し、支援艇は出艇・帰着申告をレース艇と同じ時間内に行わなければならない。
- 21.2 支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。
- 21.3 支援艇は、大会で生じる人身の傷害、死亡、または他の艇や参加者に対する損害賠償に対応するために十分な保険に加入していなければならない。
- 21.4 天候等の状況によりレース委員会から各支援艇にレース艇に対する救助要請等を行う場合は、レース委員会船に数字旗 8 が掲揚されたことをもってその合図とする。数字旗 8 がクラス旗の上に掲揚された場合、そのクラスのみに当該信号が適用される。
- 21.5 支援艇は出艇から帰着するまでの間、常に主催者が用意したピンク旗を掲揚しなければならない。ピンク旗はレース委員会で用意され、大会終了後、返却しなければならない。

## 22. ごみの処分【DP】

ごみは支援艇またはレース委員会艇に渡してもよい。

## 23. 賞

### 23.1 国際スナイプ級

- (1) 1位から6位に賞状を、また、1位から3位に賞品をあたえる。
- (2) 本大会の上位の艇を2017年度 第70回全日本スナイプ級ヨット選手権大会に推薦する。

ただし、関西水域で日本スナイプ協会の個人会員登録を行った艇に限る。

### 23.2 セーリングスピリッツ級

1位から3位に賞状をあたえる。

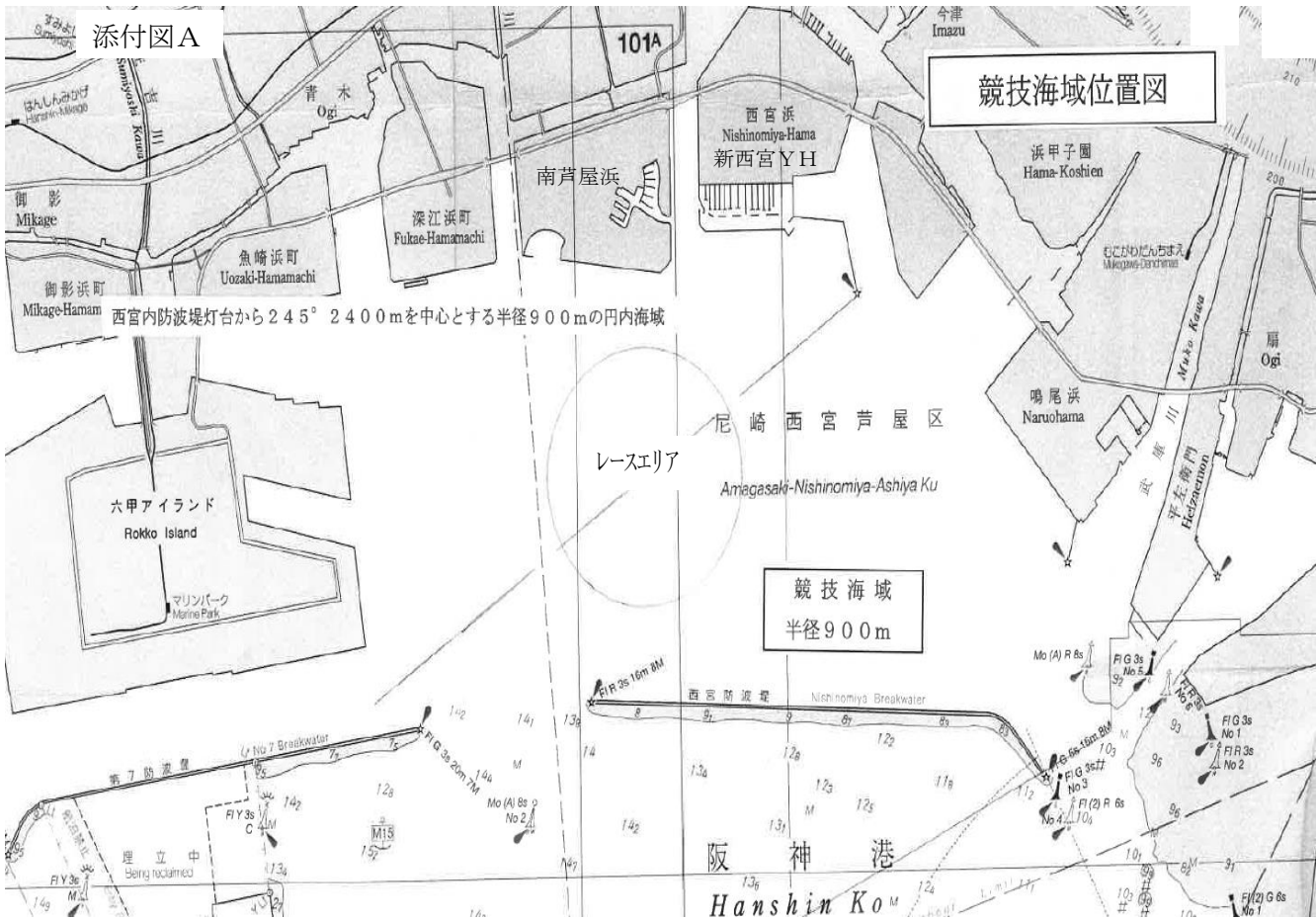
## 24. 責任の否認

このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4「レースをすることの決定」参照。

主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 25. 保 険

それぞれの参加艇は、大会で生じる人身の傷害、死亡、または他の艇や参加者に対する損害賠償に対応するために十分な保険に加入していなければならない。

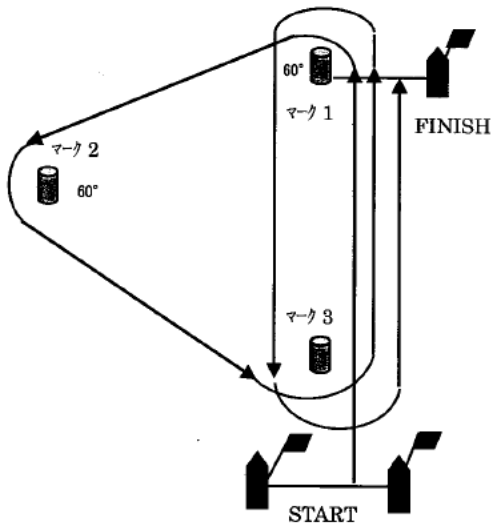


添付図B

コース①

【オリンピックコース】

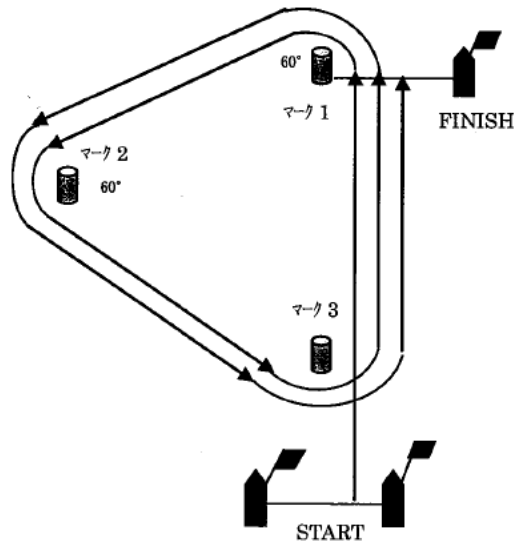
S-1-2-3-1-3-F



コース②

【トライアングルコース】

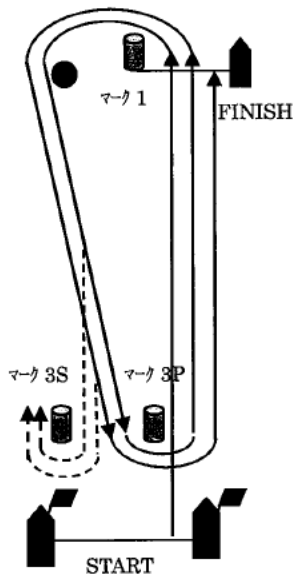
S-1-2-3-1-2-3-F



コース③

【風上・風下コース】

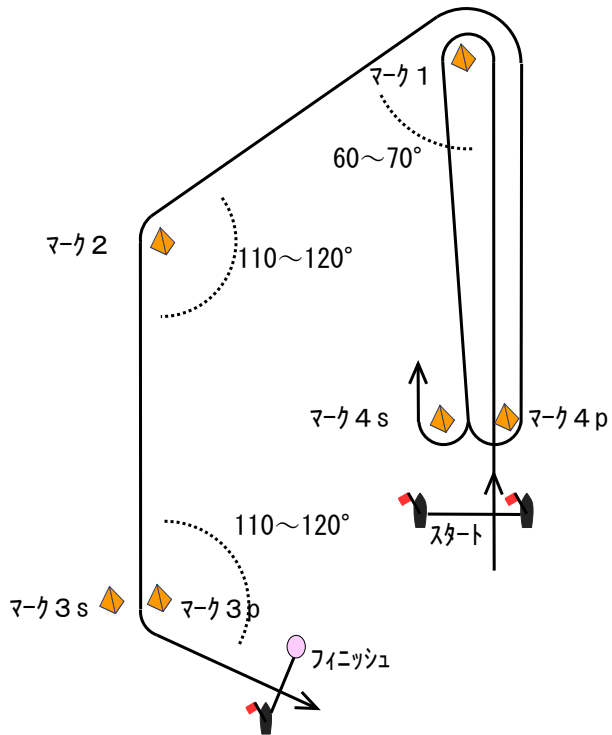
S-1-3-1-3-F



コース"Ⅰ" トラペゾイド インナーループ

I 2 : スタート-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ

I 3 : スタート-1-4s/4p-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ



コース"Ⅱ" トラペゾイド アウターループ

O 2 : スタート-1-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

O 3 : スタート-1-2-3s/3p-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

